

# 1994年工学教育連合講演会開催案内

工学教育の問題は、全体的な政策に関わる問題から、個別分野の教育に至るまで、様々な角度から取り上げられ討議されている。

本連合講演会は、工学教育に関心が深い工学関係の主要学会が、それぞれの分野における経験、実績、問題点を持ち寄って討議しあい、その成果を工学の全分野に浸透させることによって、工学教育のいっそうの改善を図ろうとするものである。

1. 共催：(社)日本鉄鋼協会、(社)日本工業教育協会、他
2. 日時：平成6年5月18日(水) 9:00~17:00
3. 場所：工学院大学 新宿校舎 (東京都新宿区西新宿 TEL:03-3342-1211)
4. プログラム：

## 特別講演 (12:30~14:20)

日本の工学教育の在り方 ..... 東京電機大学学長 岡村 総吾  
 科学技術の将来と人材教育 ..... 広島県教育長 寺脇 研

## 講演

セッション1 (9:00~11:30) 創造性を育むために —その企画と実践— 座長：小倉克之, 十代田知三  
 実習・実感創造性教育の試み ..... 東工大 教授 広瀬 茂男  
 建築の設計 (デザイン) 教育について ..... 芝浦工大 工学部長・教授 相田 武文  
 創造とその具体的プロセス ..... 三井石油化学工業 専務取締役 藤田 泰宏

## セッション2 (9:00~11:30) 情報教育とコンピュータリテラシ

情報教育の問題点 ..... 電通大情報システム学研究科 教授 曾和 将容  
 コンピュータリテラシ教育 ..... 慶大環境情報学部 教授 大岩 元  
 情報システム教育と社会とのかかわり ..... 電通大情報システム学研究科 教授 藤野 喜一  
 情報教育カリキュラムのコアとは ..... 東京農工大 教授 中森 真理雄  
 情報教育の実例—アメリカの大学におけるCAD教育の実態 ..... オートディスク米国本社 Dr. J.Purcell

## セッション3 (14:30~17:00) 大学以前, 大学, そして企業内教育の役割は今

進路を決める瞬間教育とは —好きの発見— ..... 科学技術と経済の会 専務理事 只野 文哉  
 専門能力と一般能力 —人材育成の役割分担— ..... 九大工 教授 牛島 和夫  
 企業内教育の経験から大学教育へ望みたい事 ..... 新日鐵 常務取締役 富浦 梓  
 産業構造の変化と教育 ..... 三菱重工 特別顧問 白木 万博

## セッション4 (14:30~17:00) 地球環境問題を工学教育にどう組み込むか

土木工学教育の方向を探る—地球環境問題に視点を置いて— ..... 東工大 教授 池田 駿介  
 地球温暖化問題の特質と工学教育のジレンマ ..... 茨城大工 助教授 三村 信男  
 学際領域 (Interdisciplinary field) の研究と教育 ..... 京大環境地球工学専攻 教授 平岡 正勝  
 サブコースとしての地球環境工学 ..... 東大工 教授 小宮山 宏

## 5. 参加要領：

定員 200名 (先着順, 定員になり次第締切)  
 参加費 (資料代・消費税を含む) 会員：5,000円 (共催学協会に所属する方) 非会員：7,000円

## 6. 申込方法：

申込書は次項問合せ先へご請求下さい。  
 参加費は銀行振込または当日会場でお支払下さい。(銀行振込は5月10日(火)までお願いします)  
 取引先銀行：住友銀行 上野支店 (普通) 844300 口座名 (社)日本工業教育協会

## 7. 申込・問合せ先

(社)日本工業教育協会 〒110 東京都台東区台東4-26-8 (御徒町台東ビル) TEL 03-3832-9040 FAX 03-3832-9049

## ブックレビュー

### ●Materials Science and Technology Vol. 15 Processing of Metals and Alloys●

R. W. Cahn著, 1991年  
 VCH Verlagsgesellschaft mbH, Germany発行  
 B5変形判 628頁

最近の材料開発の動きには目を見張るものが多いが、種々の材料の特性を把握・理解するためのMaterial Scienceの進歩の現状のまとめ、さらに複雑化する材料製造技術に共通する技術面、学理面の要素を見い出そうとの意図から本シリーズの刊行が続けられている。本シリーズで扱う材料分野は鉄鋼から半導体、ポリマーまで幅広く想定されている。

Vol. 15の「Processing of Metals and Alloys」は、そのタイトルからは本シリーズの中で最も古典的かつ実用的との印象を得るが、実際の構成は広く他の材料分野で開発されつつある最新の技術が金属材料製造プロセスに応用されつつある状況を反映したものになっている。新技術のバックグラウンドとなる物理現象の的確なレビューもあいまって、金属材料分野の研究者、技術者が材料工学分野の現状をコンパクトにかつ深く理解するのに有用なものといえよう。

本巻は以下の13章より構成されている。

1. 凝固工学 2. 急冷凝固 3. レーザー表面改質 4. 粉末冶金 5. メカニカルアロイイング 6. イオン注入 7. エピタキシャル成長 8. 金属薄膜 9. 再結晶 10. 結晶方位制御 11. 電解析出 12. 微小重力下凝固 13. ナノスケール物質 従来、凝固、表面処理、鉄鋼材料、さらには半導体と異った分野で記述されていた技術、理論を一冊の本に総合し、各々の分野の進歩を参照しつつ読み進めることが出来るように配慮されている点が本シリーズの特徴といえよう。

(川崎製鉄(株) 鉄鋼技術本部 桜谷敏和)